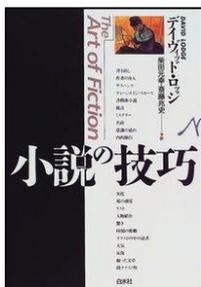


★この注文書でのご注文は返品条件付きで出荷します

●文芸書(海外文学) ご担当者さま

追悼 デイヴィッド・ロッジ

1935.1.28 - 2025.1.1



小説の技巧 [28刷]

柴田元幸、斎藤兆史 訳

読者を小説世界に引きずりこむために作家は書き出しにどんな工夫を凝らしているか。サスペンスを持続させるにはいかなる妙技が必要か。登場人物の名前がもつ意味は。「エマ」「コリシース」から「ライ麦畑」「日の名残り」まで、古今の名作を題材にその技法を解明し、小説味読の楽しみを倍加させる一書。



起きようとしなない男

高儀進 訳

本書は、英国の大御所デイヴィッド・ロッジが30歳から80歳までに書いた、8つの短篇を収めた自身初の短篇集。作風はブラック・コメディ、セックス・コメディ、意外な結末のロアルド・ダール風など、バラエティに富み、まさに『小説の技巧』の作家の本領発揮、コミック・ノベルの名手が満を持して放つ、粒ぞろいの1冊。



作家の運 デイヴィッド・ロッジ自伝

高儀進 訳

本書の白眉は、1984年、『小さな世界』が一票差でブッカー賞の受賞を逃すが、大学を辞めてフルタイムの作家になる決心をすること、そして1988年、『素敵な仕事』がまたしてもブッカー賞を逃すものの、翌年、ブッカー賞の選考委員長になり、カズオ・イシグロの『日の名残り』が受賞し、その内幕が詳述されることだ。



交換教授 二つのキャンパスの物語

高儀進 訳

1969年、大学で英文学を教えるアメリカ人の教師モリス・ザップと、イギリス人の教師フィリップ・スワローが交換教授となって半年間互いにポストを取り換える。やがて二人は文化的メンタリティーだけではなく、なんと妻をも「交換」することになる……。コミック・ノベルの最高傑作を、待望の改訳一巻本で贈る。

貴店印	希望数	ISBN978-4-560-	書名	本体価格
		04634-0	小説の技巧	2,400円
		09568-3	起きようとしなない男 その他の短篇	2,200円
		09676-5	作家の運 デイヴィッド・ロッジ自伝	5,000円
ご担当 様		07185-4	交換教授 二つのキャンパスの物語	1,600円

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-20)